

# STプロジェクトの検討まとめの報告

- (1) 持続可能な観光のためのビジネス基準作成関連
- (2) STガイドライン作成の流れと成果物について(JTREC)
- (3) STビジネス基準の今後の取り組みについて

第3回国連CEFACT 説明資料

2021年8月19日(木)

中込昌治

## 持続可能な観光のためのビジネス基準 プロジェクトの詳細

ドメイン	<u>旅行および観光ドメイン</u>
プロジェクト識別子	P1078
局決定 #	#1905005、#2003092; #2006001; #2008030
プロジェクト提案状況	正式
プロジェクトページ	<u>持続可能な観光のためのビジネス基準</u>
VCのサポート	<u>イアンワット</u>
プロジェクトリーダー	<u>Tunghua TAI</u>
HODサポート	該当なし
スターテス	開発中
バージョン	5.0
提出日	2019-04-1
ドラフト開発の完了	2021-08-31
発行日	2021-11-15

## プロジェクトの目的

国連の持続可能な開発目標(SDG)は、持続可能な観光を個別の目標として挙げていません。ただし、SDGsのいくつかは観光産業に応用されています。

観光は、世界的にも地域的にも、地域社会、天然資源、気候、経済に深刻な悪影響を与える可能性があります。

観光は旅行と強く結びついています。したがって、持続可能な旅行と輸送が考慮されます。宿泊サービス(宿泊)等も同様です。

世界的に見て、観光業界では、観光客を受け入れるために地域社会の要求を満たすだけでなく、観光を利用してそれらの地域社会にプラスの影響を与えるために変化が必要であるという認識があります。観光は脅威であると同時にチャンスでもあります。このプロジェクトの目的は、持続可能な観光を明確に定義し、持続可能な観光と見なすことができるものとすべきでないもののパラメーターを設定することです。

このプロジェクトで作成された基準の助けを借りて、持続可能な観光と非持続可能な観光を区別することが可能になるはずですが。これらの基準は、観光商品やサービスの購入者が、購入したものが持続可能なものと見なすことができるという一定の確実性を持って選択を行うのにも役立ちます。

## プロジェクト範囲

このプロジェクトは、持続可能な観光に関する定義、基準、ガイドラインを作成することです。

認証またはラベリングシステムは提供していません。

プロジェクトはまた、政府に将来の推奨事項の構成要素を提供し、政府の構成員における持続可能な観光を促進および促進します。

このプロジェクトでは、持続可能な観光商品のサブセットである体験プログラムに関するUN / CEFACIによって作成された作業を考慮に入れます。

## プロジェクトの成果物

成果物1: 持続可能な観光のための定義、基準、ガイドラインを含むホワイトペーパー

## 終了基準

配信の終了基準。1: プロジェクトチームが作成したホワイトペーパーの局による承認

## STガイドラインまとめの提言など (第2回国連観光部会 2021.6.17)

STガイドラインまとめの、幅広い視野にたった以下の意見・提言があった。

意見・提言は以下の通り(コメントはメモからの作成で抜けもあり不十分を考慮願います)

- a. 観光で重要なことに安心・安全の考え方がほしい。観光の安心安全に言及してグローバルな協定など考えて指標に入れ、将来はさらに安全安心に取り組む必要がでてきたと考えている。何処かにホーカスした取り組みも必要で、またこれから観光に取り組もうとしているアジア、アフリカなどを想定しての検討等も考えられる。
- b. STの定義は皆で合意してもらえらる必要がある。その辺を含めて今後あるべき旅行とはについて範囲を定めてガイドラインを作成すべきである。日本の考え方も入れる必要もある。
- c. UN/CEFACTに絞って考えると各地域等の良さを因数分解して地域の高齢化、地域が観光客に対するサービス、データを活用すると言った解決手段としてできないか、ウエルネス等具体的なものを感じる。バックカスティングとなる未来を見据えた目標が必要。タイさんとは支援する方向での検討も必要。
- d. SDGsの取り組みの2030年アジェンダのディフィニションを含めて2030年までの普遍的なテーマを決めて発信するのが重要と考える。JTRECの取り組みでは堀田さん等で進めている等強みとして健康なども具体的なテーマである。具体的なガイドライン作成が必要である。
- e. 過去がどうあったかではなくタイさんの方向を検討対象として進めながらさらに日本としての考えも進めてその成果を日本の中で閉じてしまうのではなくUN/CEFACTの立場としてSTツーリズムの検討も必要である。

1. 持続的な観光のビジネス基準検討要件について (2020.4.15 検討会資料から)

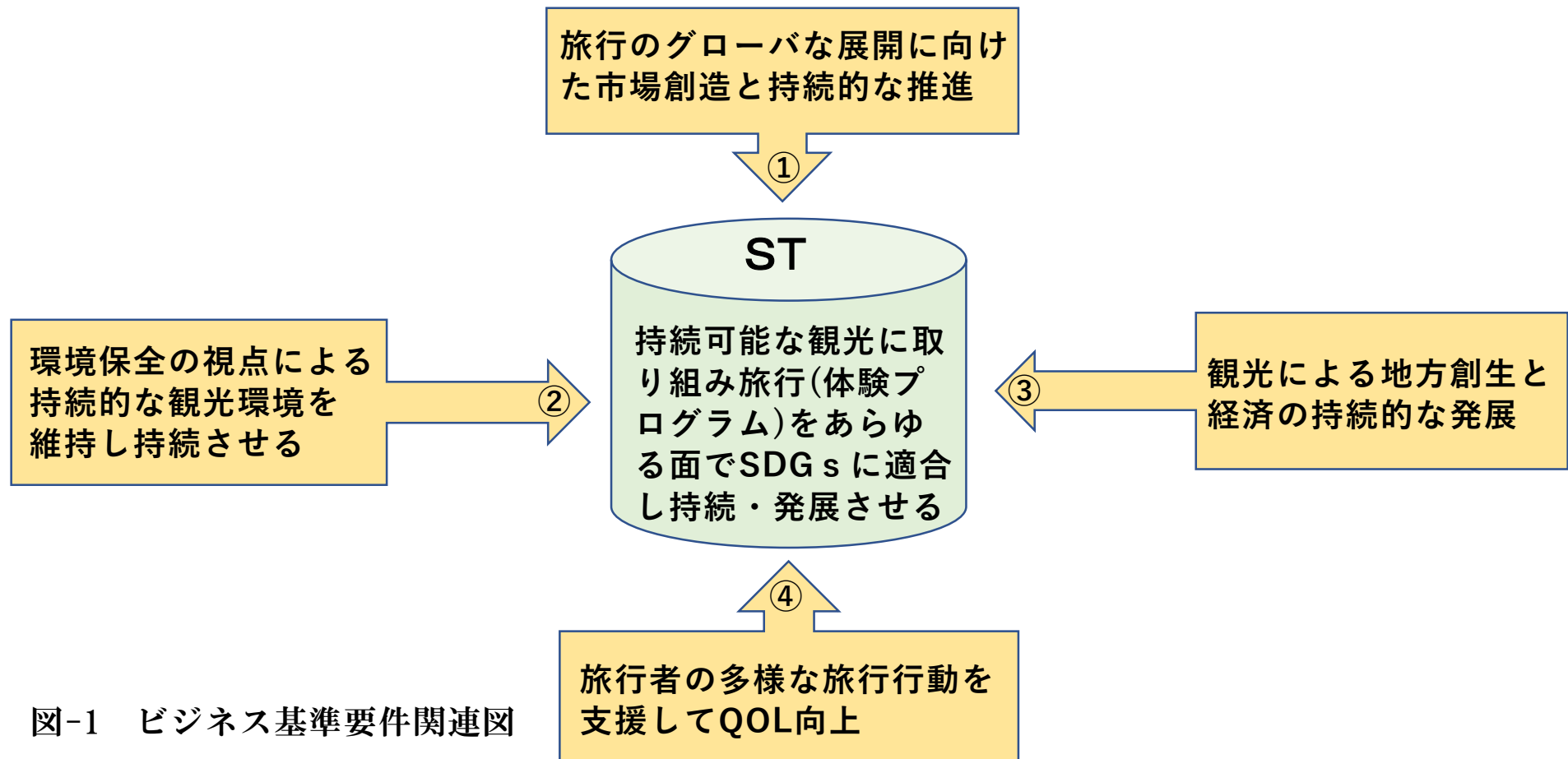


図-1 ビジネス基準要件関連図

## 2. STのプロジェクトでの検討作業について

2015年9月25日第70回国連総会で採択されたSDGsは「我々の世界を変革する」を目標に2030アジェンダとして採択された。

STプロジェクトのミッションは観光に関わるSDGsの精神に基づいたビジネス基準の作成である。持続可能な観光はグローバルに発展し持続・変革することを目指している。

右図で示す観光に関連する5つの分野を括りSTビジネス基準作成作業を提案する。

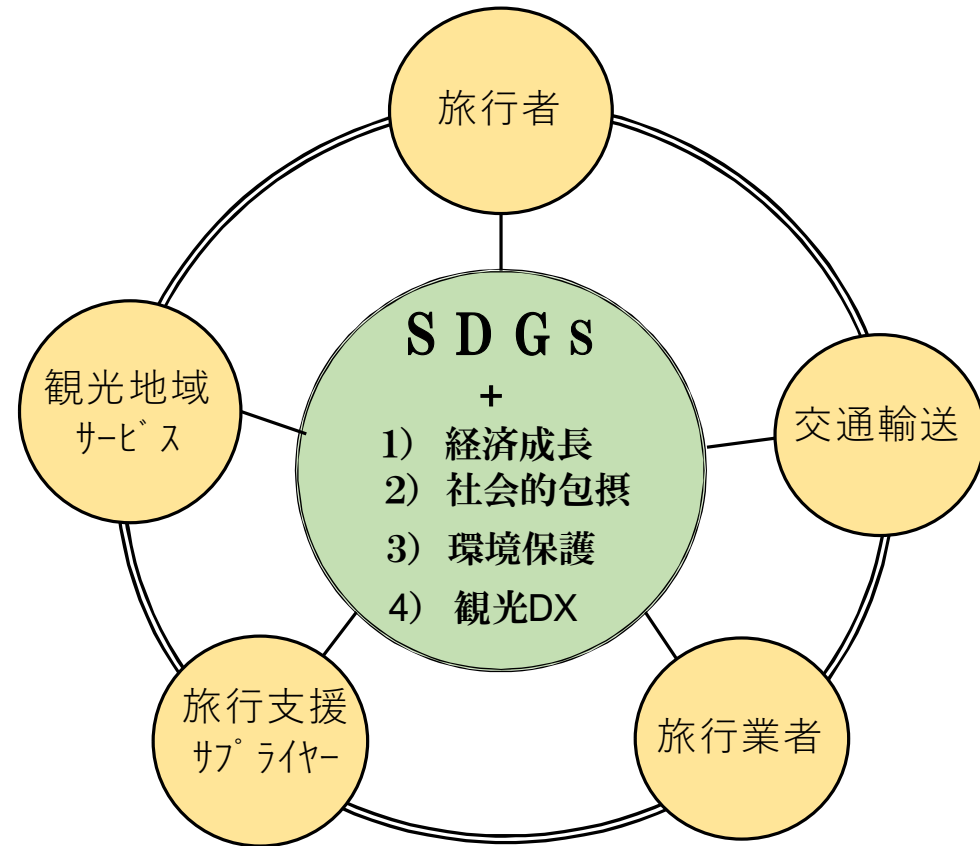


図-2 ビジネス基準関連図

### 3. STガイドライン作成の取組

○ST検討のまとめのプロセスについて

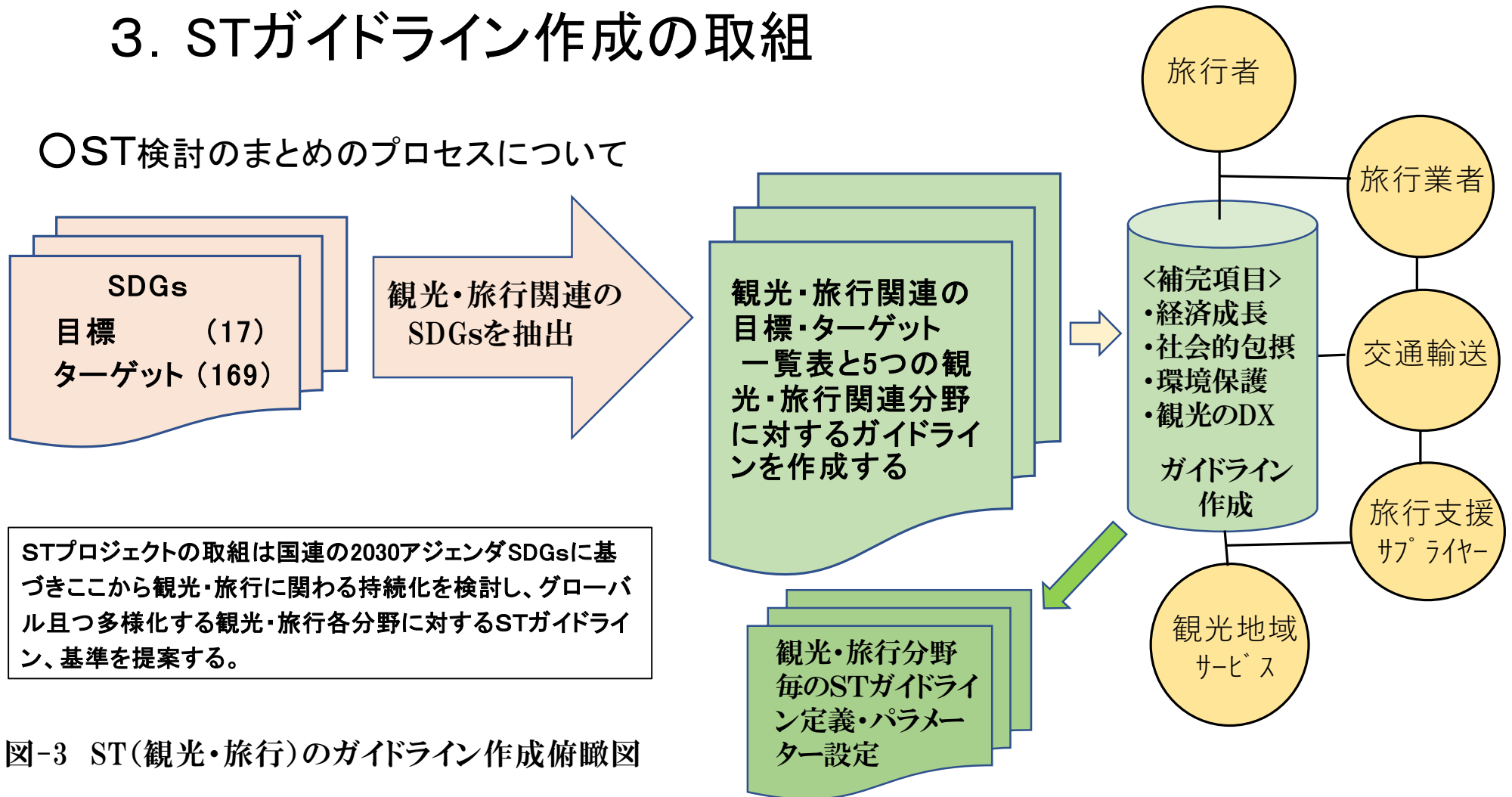


図-3 ST(観光・旅行)のガイドライン作成俯瞰図

## 4. STガイドライン作成のデータプロセス

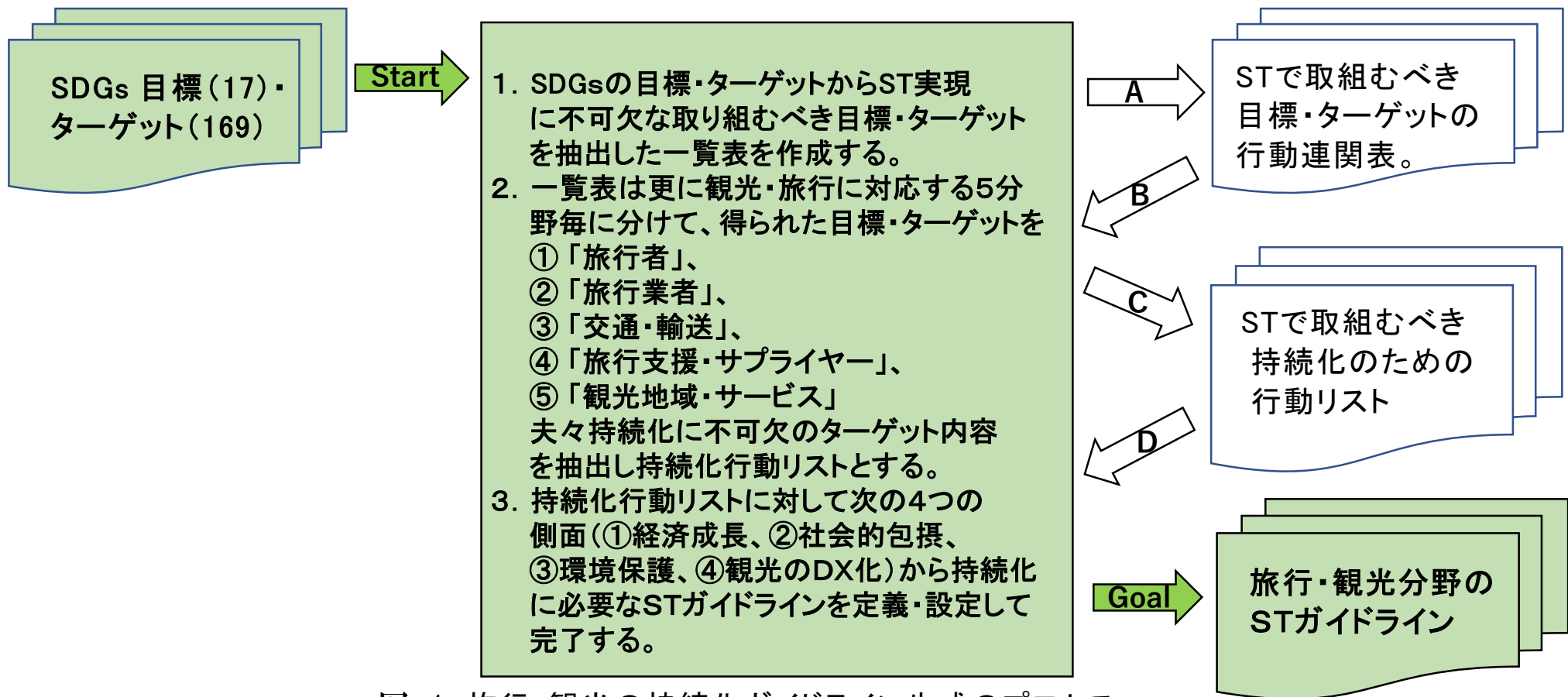


図-4 旅行・観光の持続化ガイドライン生成のプロセス

IBM HIPO = Hierarchy plus Input-Process-Output



## 4-2. SDGsをベースにしたSTガイドライン作成の手順

STガイドラインは以下による手順で作成する。（2021/06/08 STプロジェクト検討会〈方策-1〉により作成）

①SDGsの目標・ターゲットから4-4「観光:旅行」に関連するSDGsのみを抽出し

○STの目標・ターゲット一覧を作成する各一覧表はに5つの分野に対応する行動リストとして表記する。

②全ての行動リスト作成後に行動リストを ○5つの分野をそれぞれのSTガイドライン一覧表として振分て作成しする。

この作成過程で4つの側面も加味して5つの分野別のSTガイドラインを定義・設定する。

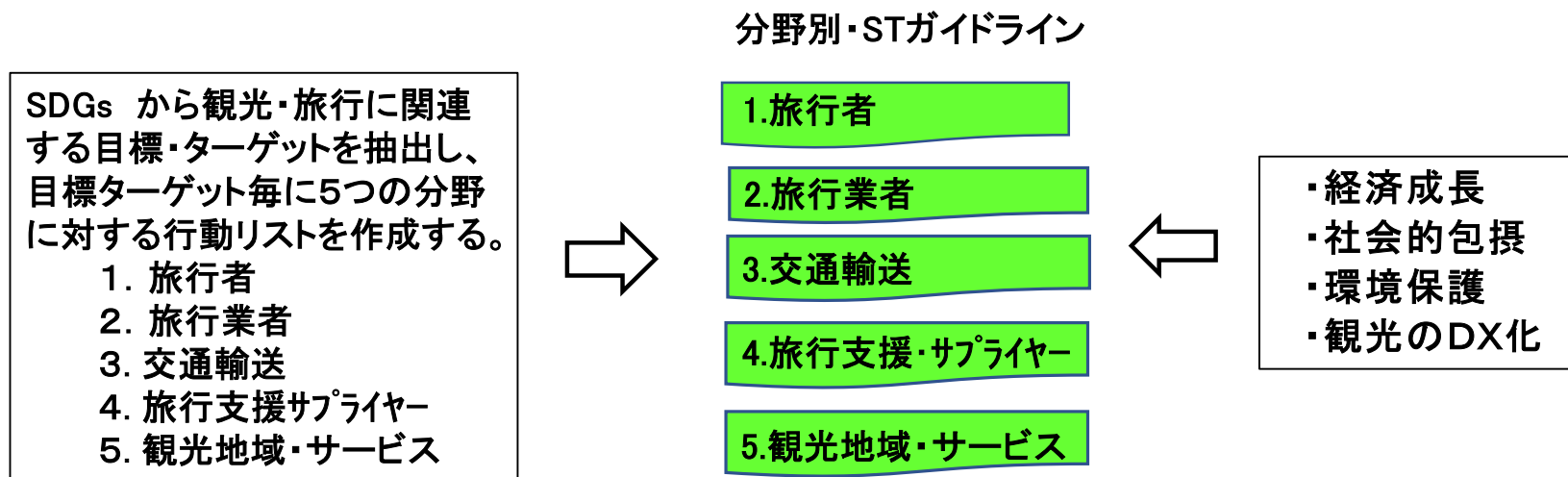


図-5) ST(観光・旅行)のガイドライン作成の流れ

## 4-3. STを可能にするSDGsの目標・ターゲット分別表(1/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標1	1.4	1.5										
目標2	2.3	2.4	2.c									
目標3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9	3.a	3.b					
目標4	4.3	4.4	4.5	4.7	4.b							
目標5	5.1	5.5										
目標6	6.1	6.2	6.3	6.6	6.a	6.b						

### 4-3. S Tを可能にするSDGsの目標・ターゲット分別表 (2/3)

目標・ ター ゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標7	7.1	7.2	7.3	7.a	7.b							
目標8	8.3	8.5	8.6	8.6	8.9	8.10	8. b					
目標9	9.1	9.4	9. c									
目標 10	10.1	10.4										
目標 11	11.2	11.4	11.6	11.7	11.a	11.b	11.c					
目標 12	12.2	12.3	12.4	12.5	12.8	12.a	12.b	12.c				

### 4-3. STを可能にするSDGsの目標・ターゲット分別表(3/3)

目標・ターゲット	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標 13	13.1	13.2	13.3	13.a	13.b							
目標 14	14.1	14.2	14.3	14.4.	14.5	14.6	14.7	14.a	14.b	14.c		
目標 15	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.a	15.b	15.c
目標 16	16.1	16.2	16.5	16.7	16.10	16.a	16.b					
目標 17	17.8											

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(1)

ターゲット	目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
1.4	2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、すべての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。
1. 旅行者	訪問先の地域の人々と平等な交流と社会的包摂と資源の対価を適切に支払う
2. 旅行業者	観光資源の平等な権利の取組みをすべての男性及び女性がサービスへのアクセスと経済的に平等な権利確保ができるようにする
3. 交通輸送	交通インフラの提供及び環境整備・充実と地域住民の雇用の機会を増やす
4. 旅行支援 サプライヤー	地域の観光関連の雇用促進と観光資源の保存のための支援事業促進と地域雇用に取り組む
5. 観光地域 サービス	観光資源の開発・整備・保護により地域住民の雇用の機会を増やす

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(2)

ターゲット	目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
1.5	2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	気候変動に関連する気象状況を考慮した旅行計画と観光地域の経済、環境的災害に取り組む
3. 交通輸送	地域住民の交通輸送サービスへの適応性を、また気候変動に関連した経済、社会、環境的ショックや災害回避・軽減に取り組む
4. 旅行支援 サプライヤー	地域の貧困層や脆弱な状況下にある人々の適応性・強靱性を観光支援サービスに活かす
5. 観光地域 サービス	地域の貧困層や脆弱な状況下にある人々の適応性を高めて観光サービスに受け入れる。気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性軽減に取り組む

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(3)

ターゲット	目標 2.飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
2.3	・2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする
5. 観光地域 サービス	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(4)

ターゲット	目標 2.飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
2.4	・2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保に協力する
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保を推進する
5. 観光地域 サービス	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保を推進する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(5)

ターゲット	目標 2.飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
2.c	・食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする
5. 観光地域 サービス	食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(6)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.3	・2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処を支援する
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処を支援する
5. 観光地域 サービス	伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(7)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.5	・薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
1. 旅行者	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用しない
2. 旅行業者	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用をさせない
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用をさせない
5. 観光地域 サービス	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(8)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.6	・2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。 3.7 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
1. 旅行者	交通事故による死傷者を半減させる
2. 旅行業者	交通事故による死傷者を半減させる
3. 交通輸送	交通事故による死傷者を半減させる
4. 旅行支援 サプライヤー	交通事故による死傷者を半減させる
5. 観光地域 サービス	交通事故による死傷者を半減させ、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する保健サービスを支援する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(9)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.8	・すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成を支援する
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成を支援する
5. 観光地域 サービス	保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成を支援する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(10)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.9	・2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
1. 旅行者	旅行先での有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染をしない
2. 旅行業者	旅行計画に旅行先での有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染などを避ける
3. 交通輸送	有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染などを避ける
4. 旅行支援 サプライヤー	有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染などを避ける
5. 観光地域 サービス	有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染などを避け、すべての人々の健康的な生活を確保する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(11)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.a	・すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
1. 旅行者	旅行先のすべての国々において、タバコ規制を遵守する
2. 旅行業者	旅行先のすべての国々において、タバコ規制を遵守する
3. 交通輸送	旅行先のすべての国々において、タバコ規制を遵守する
4. 旅行支援 サプライヤー	旅行先のすべての国々において、タバコ規制を遵守する
5. 観光地域 サービス	旅行先のすべての国々において、タバコ規制を遵守する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(12)

ターゲット	目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
3.b	<p>・主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS 協定)及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特にすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる4-4 「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS 協定)」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。</p>
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
5. 観光地域 サービス	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(13)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.1	・2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	
3. 交通輸送	
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての子どもが男女の区別なく公正で質の高い教育／生涯学習の機会を促進する
5. 観光地域 サービス	すべての子どもが男女の区別なく公正で質の高い教育／生涯学習の機会を促進する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(14)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.3	2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	
3. 交通輸送	
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
5. 観光地域 サービス	すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(15)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.4	・2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
3. 交通輸送	技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
4. 旅行支援 サプライヤー	技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
5. 観光地域 サービス	技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(16)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。</li> </ul>
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
3. 交通輸送	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5. 観光地域 サービス	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(17)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.7	<p>・2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p>
1. 旅行者	<p>グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする</p>
2. 旅行業者	<p>グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする</p>
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	<p>グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする</p>
5. 観光地域 サービス	<p>グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする</p>

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(18)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.b	・2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術（ICT）、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術（ICT）、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。
5. 観光地域 サービス	”

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(19)

ターゲット	目標 4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
4.c	・2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	開発途上国、特に後発開発途上国に国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	開発途上国、特に後発開発途上国に国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。
5. 観光地域 サービス	開発途上国、特に後発開発途上国に国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(20)

ターゲット	目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
5.1	・あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
1. 旅行者	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
2. 旅行業者	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5. 観光地域 サービス	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(21)

ターゲット	目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
5.5	・政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	あらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
5. 観光地域 サービス	あらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(22)

ターゲット	目標 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
5.b	・女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
3. 交通輸送	
4. 旅行支援 サプライヤー	女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
5. 観光地域 サービス	女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(23)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.1	・2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	—
5. 観光地域 サービス	すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(24)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.2	・2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
1. 旅行者	野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
2. 旅行業者	すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
3. 交通輸送	野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。
5. 観光地域 サービス	すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女兒、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(25)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.3	・2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
5. 観光地域 サービス	汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(26)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.4	・2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。
1. 旅行者	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理に協力する
2. 旅行業者	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理に協力する
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理に協力する
5. 観光地域 サービス	全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(27)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.5	・ 2030年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。
1. 旅行者	—
客	—
送	—
愛	—
サプライヤー	—
5. 観光地域 サービス	あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。

SDGs目標・ターゲット(27)

可能性と持続可能な管理を確保する

協力を促す、あらゆるレベルでの統合水資源管理を

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(28)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年までに、集水、海水淡水化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術を含む開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。</li> </ul>
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	—
5. 観光地域 サービス	集水、海水淡水化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術を含む開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(29)

ターゲット	目標 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
6.b	・水と衛生の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。
1. 旅行者	—
2. 旅行業者	—
3. 交通輸送	—
4. 旅行支援 サプライヤー	—
5. 観光地域 サービス	水と衛生の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(30)

ターゲット	目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
7.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。</li> </ul>
1. 旅行者	安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを 確保する。
2. 旅行業者	安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを 確保する。
3. 交通輸送	安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを 確保する。
4. 旅行支援 サプライヤー	安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを 確保する。
5. 観光地域 サービス	安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを 確保する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(31)

ターゲット	目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
7.2	・ 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
3. 交通輸送	世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
4. 旅行支援 サプライヤー	世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
5. 観光地域 サービス	世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(32)

ターゲット	目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
7.3	・2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(33)

ターゲット	目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
7.a	・2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(34)

ターゲット	目標 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
7.b	・2030年までに、各々の支援プログラムに沿って開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、内陸開発途上国のすべての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを供給できるよう、インフラ拡大と技術向上を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	すべての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを供給できるよう、インフラ拡大と技術向上を行う。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(35)

ターゲット	目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
8.3	・生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進する
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(36)

ターゲット	目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
8.5	・2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する
3. 交通輸送	若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する
4. 旅行支援 サプライヤー	若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する
5. 観光地域 サービス	若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(37)

ターゲット	目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
8.9	・2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
5. 観光地域 サービス	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(38)

ターゲット	目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
8.10	・国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(39)

ターゲット	目標 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
8.b	・2020年までに、若年雇用のための世界的戦略及び国際労働機関(ILO)の仕事に関する世界協定の実施を展開・運用化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	若年雇用のための世界的戦略及び国際労働機関(ILO)の仕事に関する世界協定の実施を展開・運用化する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(40)

ターゲット	目標 9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
9.1	・すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。
5. 観光地域 サービス	すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(41)

ターゲット	目標 9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
9.4	・2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
3. 交通輸送	資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(42)

ターゲット	目標 9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
9.c	・後発開発途上国において情報通信技術へのアクセスを大幅に向上させ、2020年までに普遍的かつ安価なインターネット・アクセスを提供できるよう図る
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	情報通信技術へのアクセスを大幅に向上させ、2020年までに普遍的かつ安価なインターネット・アクセスを提供できるよう図る

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(43)

ターゲット	目標 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する
10.4	・税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(44)

ターゲット	目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
11.2	・2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	
3. 交通輸送	脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。
4. 旅行支援 サプライヤー	
5. 観光地域 サービス	脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(45)

ターゲット	目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
11.4	・世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
1. 旅行者	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
2. 旅行業者	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。
5. 観光地域 サービス	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。-

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(46)

ターゲット	目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
11.7	・2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(47)

ターゲット	目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
11.b	・2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(48)

ターゲット	目標 11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
11.c	・財政的及び技術的な支援などを通じて、後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靱(レジリエント)な建造物の整備を支援する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	財政的及び技術的な支援などを通じて、後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靱(レジリエント)な建造物の整備を支援する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(49)

ターゲット	目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
12.8	・ 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
1. 旅行者	人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする
2. 旅行業者	人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
5. 観光地域 サービス	人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(50)

ターゲット	目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
12.a	・ 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(51)

ターゲット	目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
12.b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。</li> </ul>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する
5. 観光地域 サービス	雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(52)

ターゲット	目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する
12.c	・ 開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(53)

	目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
13.1	・すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
5. 観光地域 サービス	気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(54)

ターゲット	目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
13.2	・ 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(55)

ターゲット	目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
13.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</li> </ul>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する
5. 観光地域 サービス	気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(56)

ターゲット	目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
13.a	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な緩和行動の実施とその実施における透明性確保に関する開発途上国のニーズに対応するため、2020年までにあらゆる供給源から年間1,000億ドルを共同で動員するという、UNFCCCの先進締約国によるコミットメントを実施するとともに、可能な限り速やかに資本を投入して緑の気候基金を本格始動させる。</li> </ul>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	<p>重要な緩和行動の実施とその実施における透明性確保に関する開発途上国のニーズに対応するため、先進締約国によるコミットメントを実施するとともに、可能な限り速やかに資本を投入して緑の気候基金を本格始動させる</p>

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(57)

ターゲット	目標 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
13.b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において、女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進する。</li> </ul>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進する
5. 観光地域 サービス	女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(58)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.1	・2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。
1. 旅行者	海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する
5. 観光地域 サービス	海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(59)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.2	・2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う
5. 観光地域 サービス	海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(60)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.3	・あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する。
1. 旅行者	あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する
5. 観光地域 サービス	あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(61)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.4	<p>・水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。</p>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	<p>水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する</p>
5. 観光地域 サービス	<p>水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する</p>

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(62)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.5	・2020年までに、国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の10パーセントを保全する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の10パーセントを保全する
5. 観光地域 サービス	国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の10パーセントを保全する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(63)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.6	<p>・開発途上国及び後発開発途上国に対する適切かつ効果的な、特別かつ異なる待遇が、世界貿易機関(WTO)漁業補助金交渉の不可分の要素であるべきことを認識した上で、2020年までに、過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し、違法・無報告・無規制(IUU)漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する<sup>2</sup>。</p> <p>注釈2 現在進行中の世界貿易機関(WTO)交渉およびWTOドーハ開発アジェンダ、ならびに香港閣僚宣言のマンデートを考慮。</p>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し、違法・無報告・無規制(IUU)漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(64)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.7	・2030年までに、漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(65)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14.a	<p>・海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う。</p>
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	<p>小島嶼開発途上国および後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う</p>
5. 観光地域 サービス	<p>小島嶼開発途上国および後発開発途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う</p>

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(66)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14..b	・小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する
5. 観光地域 サービス	小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(67)

ターゲット	目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
14..c	・4-4 「我々の求める未来」のpara158において想起されるとおり、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用のための法的枠組みを規定する海洋法に関する国際連合条約(UNCLOS)に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	海洋法に関する国際連合条約(UNCLOS)に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する
5. 観光地域 サービス	海洋法に関する国際連合条約(UNCLOS)に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(68)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.1	・2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する
5. 観光地域 サービス	国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(69)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.2	・2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる
5. 観光地域 サービス	あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(70)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.3	・2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(71)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.4	・2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。
1. 旅行者	
2. 旅行業者	
3. 交通輸送	
4. 旅行支援 サプライヤー	持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う
5. 観光地域 サービス	持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(72)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.5	・自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる
5. 観光地域 サービス	自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(73)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.6	・国際合意に基づき、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を推進するとともに、遺伝資源への適切なアクセスを推進する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を推進するとともに、遺伝資源への適切なアクセスを推進する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(74)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.7	・保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための緊急対策を講じるとともに、違法な野生生物製品の需要と供給の両面に対処する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための緊急対策を講じるとともに、違法な野生生物製品の需要と供給の両面に対処する
5. 観光地域 サービス	保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための緊急対策を講じるとともに、違法な野生生物製品の需要と供給の両面に対処する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(75)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15.8	・2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う
5. 観光地域 サービス	外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(76)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15..9	・2020年までに、生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む
5. 観光地域 サービス	生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む



## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(77)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15..a	・生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の 動員及び大幅な増額を行う。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の 動員及び大幅な増額を行う
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の 動員及び大幅な増額を行う
5. 観光地域 サービス	生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の 動員及び大幅な増額を行う

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(78)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15..b	・保全や再植林を含む持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する
5. 観光地域 サービス	持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(79)

ターゲット	目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
15..c	・持続的な生計機会を追求するために地域コミュニティの能力向上を図る等、保護種の密猟及び違法な取引に対処するための努力に対する世界的な支援を強化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	持続的な生計機会を追求するために地域コミュニティの能力向上を図る等、保護種の密猟及び違法な取引に対処するための努力に対する世界的な支援を強化する
5. 観光地域 サービス	持続的な生計機会を追求するために地域コミュニティの能力向上を図る等、保護種の密猟及び違法な取引に対処するための努力に対する世界的な支援を強化する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(80)

ターゲット	目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
16.1	・あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。
1. 旅行者	あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる
5. 観光地域 サービス	あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(81)

ターゲット	目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
16.2	・子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。
1. 旅行者	子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する
2. 旅行業者	子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する
5. 観光地域 サービス	子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(82)

ターゲット	目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
16.7	・あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する
5. 観光地域 サービス	あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(83)

ターゲット	目標 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
16.10	・国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	-
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する

## 4-4. STガイドライン作成のSDGs目標・ターゲット(84)

ターゲット	目標 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化 する
17.8	・2017年までに、後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術(ICT)をはじめとする実現技術の利用を強化する。
1. 旅行者	-
2. 旅行業者	後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術(ICT)をはじめとする実現技術の利用を強化する
3. 交通輸送	-
4. 旅行支援 サプライヤー	-
5. 観光地域 サービス	後発開発途上国のための技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術(ICT)をはじめとする実現技術の利用を強化する



## 4-5 「旅行者」のSTガイドライン(1/)

SDGs 目標 ターゲット	SDGsターゲットST行動リスト	STガイドライン定義
1.4	訪問先の地域の人々と平等な交流と社会的包摂と資源の対価を適切に支払う	訪問先の地域の人々と平等に交流し社会包摂及び資源の対価を適切に支払う
3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用しない	薬物の乱用、アルコール飲料など有害な摂取を禁止する
3.6	交通事故による死傷者を半減させる	旅行の移動手段で交通機関、自動車等を利用では地域の交通ルールの遵守、事故防止を優先する
3.9	旅行先での有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染をしない	旅行先での有害物質、ならびに大気、水質及び土壌汚染などの行為を禁止する

## 4-5 「旅行者」のSTガイドライン(1/)

SDGs 目標 ターゲット	SDGsターゲットST行動リスト	STガイドライン定義
1.4	観光資源の平等な権利の取組みをすべての男性及び女性がサービスへのアクセスと経済的に平等な権利確保ができるようにする	旅行者は観光資源の平等な権利を全ての関わる人々にサービスへのアクセス・経済的権利を平等に確保しなければならない
1.5	気候変動に関連する気象状況を考慮した旅行計画と観光地域の経済、環境的災害に取り組む	気候変動に関連する気象災害及び観光地の環境災害にこれまで上に取り組み旅行計画の安全・安心を確保した提供を優先する
2.3	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする	観光地域の生産資源、市場、地域付加価値を損ねることなく確保し、併せて雇用の機会を平等なアクセスの取り組みと所得を増やすことも考慮して事業展開する
2.4	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保に協力する	観光地等の生態系維持や気候変動に伴う極端な災害も避ける。観光地域が環境災害で孤立した場合でも観光地域と連携・支援して持続可能な食料供給・確保に協力する

## 4-5 「交通輸送」のSTガイドライン(1/)

SDGs 目標 ターゲット	SDGsターゲットST行動リスト	STガイドライン
1.4	交通インフラの提供及び環境整備・充実と地域住民の雇用の機会を増やす	交通インフラは観光地域の環境整備・充実連携を図り、特にCO2排出ゼロを実現する。また交通輸送は交通インフラと一体的に取り組み、地域住民この恩恵を享受するとともに、交通輸送の雇用拡大の機会を増やす
1.5	地域住民の交通輸送サービスへの適応性を、また気候変動に関連した経済、社会、環境的ショックや災害回避・軽減に取り組む	地域住民の交通輸送サービスとの適応性を高めて、観光による経済、社会、環境的ショックを避けなければならない。併せて災害回避・軽減に取り組む
3.6	交通事故による死傷者を半減させる	交通事故等による死傷者を削減・回避するための安全優先の交通輸送システムに取り組み改良する
3.9	有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染などを避ける	交通輸送はCO2や有害化学物質、ならびに待機、水質、海洋汚染及び山岳地域も含めた土壌汚染を避ける

## 4-5 「旅行支援・サプライヤー」のSTガイドライン(1/)

SDGs 目標 ターゲット	SDGsターゲットST行動リスト	STガイドライン定義
1.4	地域の観光関連の雇用促進と観光資源の保存のための支援事業促進と地域雇用に取り組む	観光地域の雇用促進と観光に携わる人々の観光地持続のための人材育成に併せて取り組み、地域雇用を促進する
1.5	地域の貧困層や脆弱な状況下にある人々の適応性・強靭性を観光支援サービスに活かす	地域のあらゆる人々特に貧困層や脆弱な状況下にある人々が適応性・強靭性を観光支援サービスに従事し地域の持続化に活かす
2.3	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする	観光地域の土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め平等な機会・アクセスに取り組み所得を倍増させる
2.4	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保を推進する	旅行支援にあたっては、観光地域の生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させる

## 4-5 「観光地域・サービス」のSTガイドライン(1/)

SDGs 目標 ターゲット	SDGsターゲットST行動リスト	STガイドライン定義
1.4	観光資源の開発・整備・保護により地域住民の雇用の機会を増やす	観光地域の観光資源の開発・整備・維持・保護は地域計画として取り組み併せて地域住民の雇用の機会を増やす
1.5	地域の貧困層や脆弱な状況下にある人々の適応性を高めて観光サービスに受け入れる。気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性軽減に取り組む	観光地域の貧困層を無くし、人々の適応性を高めて観光サービスに受け入れる。また気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性軽減に取り組む
2.3	土地・地域の生産資源の市場及び高付加価値を高め雇用の機会に平等なアクセスに取り組み所得を倍増させるようにする	地域の生産資源の市場及び付加価値を高め雇用の機会に平等にアクセスでき人々の所得を倍増させる。
2.4	生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上を支援し持続可能な食料生産システムを確保を推進する	観光地域全般に対して生態系維持、極端な気象変動に伴う被害、自然災害を最大限なくす取り組みを計画的に取り組み被害を避ける。災害時や非常時に合っても観光地域の持続可能な食料確保も含めてトータルに取り組む

## 5. STプロジェクトスケジュール(案)

作業項目	6月	7月	8月
1. (A) STで取組むべき 目標 ・ターゲットの行動連関表 作成(5月完了)・レビュー	レビュー → 6/5→8		
2. (C~D) STで取組むべき 持続化行動リスト作成	持続化行動リスト作成 → 6/26→ 7/15		
3. (GOAL) 観光・旅行分野の STガイドライン作成 ・レビュー ・STプロジェクトまとめ作成		STガイドライン作成 → 7/24  レビュー →	8/17 STプロジェクト(まとめ)作成 →

## 6. 「持続可能な観光のためのビジネス基準」の今後の取り組み

UN/CEFACTのプロジェクト「持続可能な観光のためのビジネス基準」の進捗・成果はプロジェクトリーダーの台湾のTAI氏が昨年ホワイトペーパー(案)を提出しており、この方向からJTREC側も検討をSDGsのに絞ったビジネス基準に取り組んだ。しかし2020年1月頃からCOVID-19の世界的パンデミックによりプロジェクト作業は中断しており、この間JTREC案として検討を進め、再開後直ちに調整をとって行きたい考えている。JTREC案については8月中に成果の取りまとめを行い9月を目処にJTRECの成果物としてまとめる方向である。

- (1) これまで持続可能な観光のためのビジネス標準WP(検討中、UN/CEFACT)AFACTは台湾が中心に推進しており、ST観光のビジネス標準で持続可能なST観光基準をSDGsの中から次の8つの分野に絞って定義している。  
「1.食べる」、「2.宿泊」、「3.輸送」、「4.観光地」、「5.ショッピング」、「6.エンターテイメント」、「7.ツアーオペレーター/ツアー代理店」、「8. 地方政府」の8つを観光のためのビジネス基準を定義して作成中である。  
ホワイトペーパーとして中間的な「200304\_Project Proposal-Business Standards for Sustainable Tourism-V2.2」(2020年2月21日 ドラフトCV.2版の UN/CEFACTの技術的適用に関するホワイトペーパーが表明された。)
- (2) JTRECはこれを受けて台湾と整合させる方向でSDGsに絞り、「1.旅行者」、「2. 旅行業者」、「3.交通輸送」、「4.旅行支援・サプライヤー」、「5.観光地域・サービス」の5分野に対応する観光のためのビジネス基準を作成している。
- (3) UN/CEFACTのプロジェクトの再開を機に基本的な検討方向は一致しているので、JTREC案をマッチングさせて行きたい考えている。

以上

## 観光情報の共有化・連携(案)

